

DRAFTING STAND

TH-05U

製図台

このたびは製図台 TH-05U をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、ご不明な点がありましたら、ご購入の販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。

TH05U-A-08

安全にご使用いただくために

取扱説明書内の ⚠️ 警告 と ⚠️ 注意

取扱説明書に記載している表示の内容を危険度の高さに応じて次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠️ 警告

誤った取扱いをした際に『使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。

⚠️ 注意

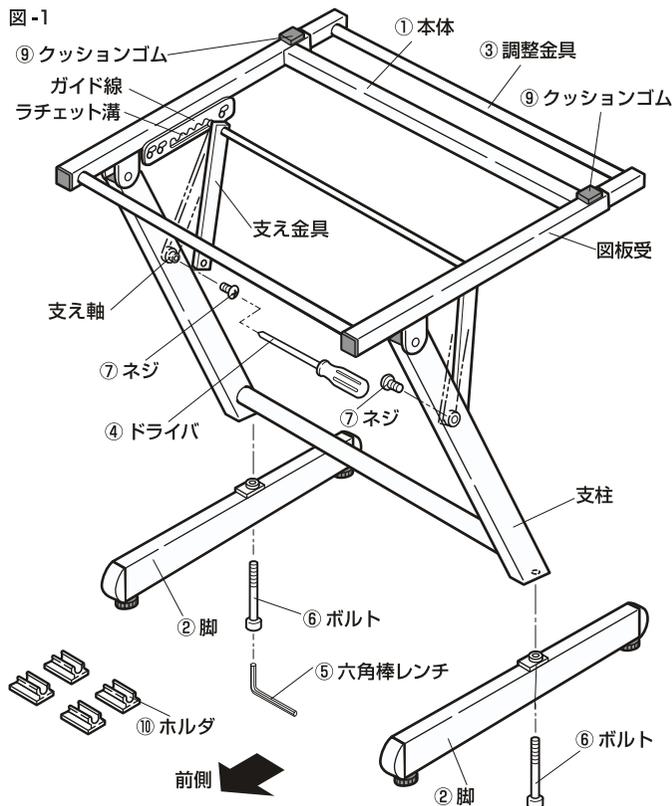
誤った取扱いをした際に『使用者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される』内容です。

武藤工業株式会社

〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3 TEL(03)-6758-7130

HOME PAGE <http://www.mutoh.co.jp/>

●保守・サービスのご用命は上記までご連絡ください。



⚠️ 注意

◆本製図台には角度バランス機構がありませんので、角度変更をする場合は支え金具が確実にラチェット板の溝へ入っていることを確認してください。

1. 梱包内容

梱包内容と現品の照合をしてください。

1-1 部品

- ① 本体.....1
- ② 脚.....2
- ③ 調整金具.....1
- ④ ドライバ.....1
- ⑤ 六角棒レンチ.....1

1-3 付属品

- ⑥ ボルト.....2
- ⑦ ネジ.....2
- ⑧ 木ネジ.....4
- ⑨ クッションゴム.....2
- ⑩ ホルダ.....4
- ⑪ スケール.....1

2. 組立方法

2-1 六角棒レンチ⑤を用いて支柱に脚②をボルト⑥で固定します。脚は長い方が前側になります。

⚠️ 注意

◆ボルト⑥やネジ⑦は固定してください。確実に締められていないと図板受や製図台が固定されませんので、注意してください。

2-2 支え金具の端の穴を本体の支え軸に取り付け、ドライバを用いてネジ⑦で固定します

2-3 図板受にクッションゴム⑨を図のように貼り付けます。

3. 製図機械の取付方法

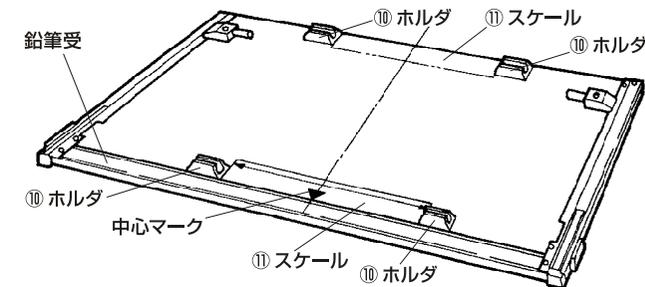
👉 参考

◆本製図台 TH-05U には、UM-09N、および JR-A2E の2種類の製図機を取り付けできます。

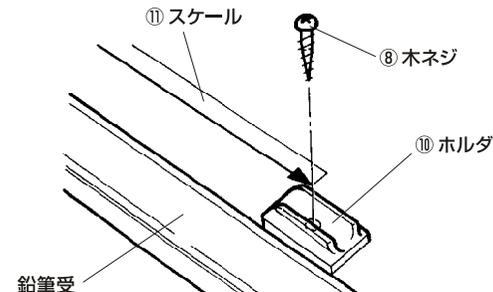
●ライナーボード UM-09N の場合

3-1 ライナーボード UM-09N を裏返して箱などの上に置きます。

3-2 図板の裏側にホルダ⑩を置きます。付属のスケール⑪を用いて、スケールの中心マークを図板上端の中心に合わせてホルダ⑩の位置を決めます。(上下2個ずつ)



3-3 図板上端のホルダ⑩2個を木ネジ⑧で固定します。木ネジ⑧の頭がホルダ⑩から飛び出さないように確実に締め付けてください。



3-4 スケールを図板下端に合わせホルダ⑩の位置を決めます。下端のホルダ⑩2個を木ネジ⑧で固定します。木ネジ⑧の頭がホルダ⑩から飛び出さないように確実に締め付けてください。

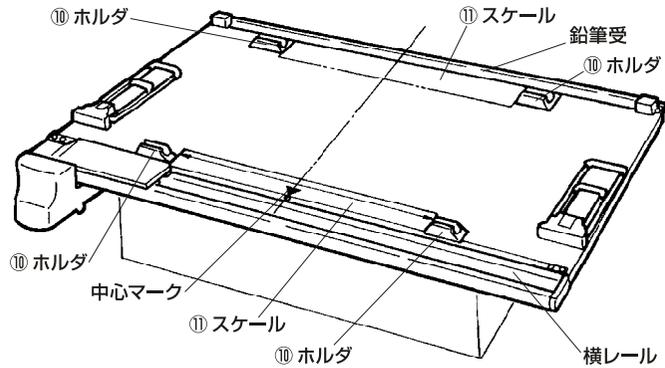
⚠️ 注意

◆製図機を裏返して置く場合は、床面に箱などを置き図板表面にキズなど付かないようにしてください。

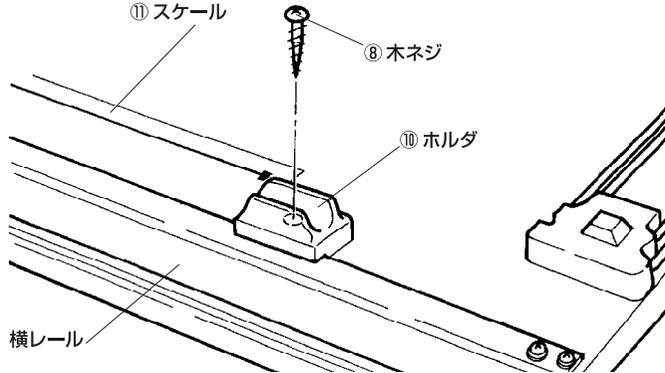
●ドラフター JR-A2E の場合

3-1 ドラフター JR-A2E を裏返して箱などの上に置きます。

3-2 図板の裏側にホルダ⑩を置きます。付属のスケール⑪を用いて、スケールの中心マークを図板上端の中心に合わせてホルダ⑩の位置を決めます。(上下2個ずつ)



3-3 図板上端のホルダ⑩2個を木ネジ⑧で固定します。木ネジ⑧の頭がホルダ⑩から飛び出さないように確実に締め付けてください。



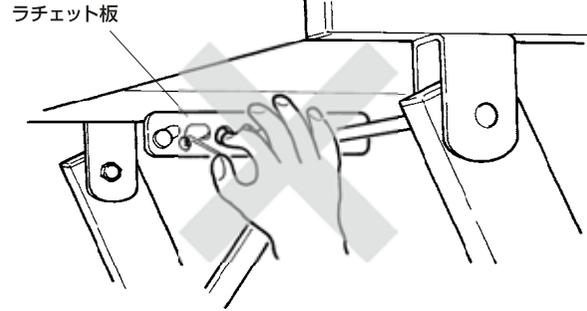
3-4 スケールを図板下端に合わせホルダ⑩の位置を決めます。下端のホルダ⑩2個を木ネジ⑧で固定します。木ネジ⑧の頭がホルダ⑩から飛び出さないように確実に締め付けてください。

●製図台への固定 (各機種共通)

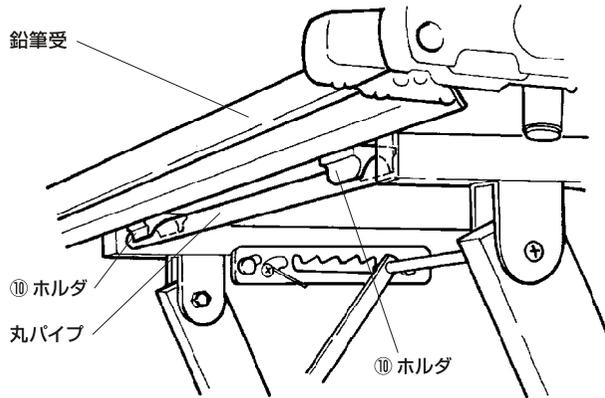
3-5 製図機械を製図台に取り付けるために製図台の図板受を水平にします。(角度がついている場合は、図板受を最大角度まで起こすと水平に戻すことができます。)

▲注意

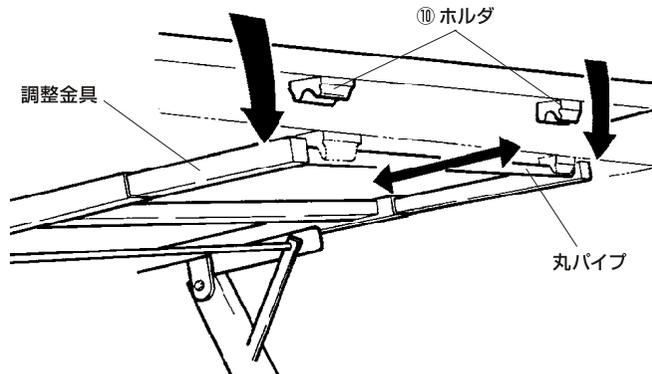
◆図板受の角度を変える場合は、ケガをする恐れがありますのでラチェット板のすき間に指等を絶対に入れないでください。



3-6 製図機械の鉛筆受側に付けたホルダ⑩を図板受手前の丸パイプにはめ込みます。

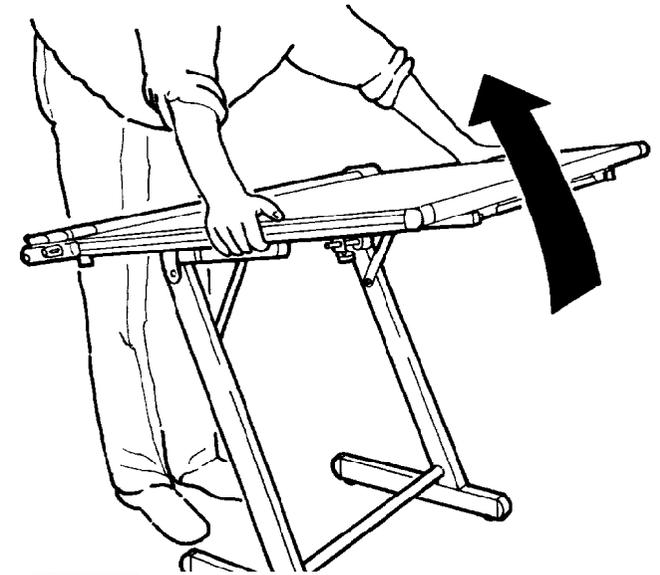


3-7 製図機械の上側に付けたホルダ⑩は、調整金具③の位置を合わせながら調整金具③の丸パイプにはめこみます。



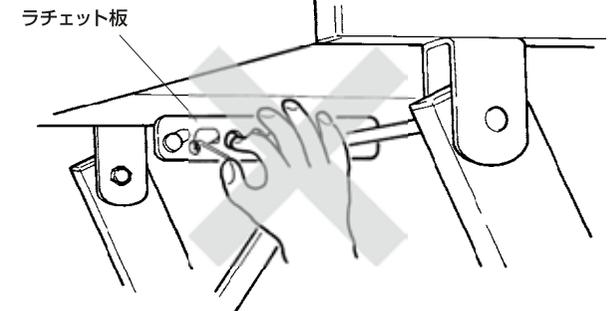
4. 操作方法

製図機械の端を持って手前に起こすと、5°、10°、15°、20°、25°の位置で使用することができます。



▲注意

◆図板受の角度を変える場合は、ケガをする恐れがありますのでラチェット板のすき間に指等を絶対に入れないでください。



◆鉛筆受部には体重をかけたりしないでください。製図板が急に傾きケガをする恐れがあります。

★以上で製図台に関する組み立ておよび取り扱い方法は充分にご理解いただけたものと存じます。ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。